業界の声

◎協同組合山梨異業種交流青中倶楽部
理事長　秋山　勲氏

業界の現況は？

本組合は、平成10年にその名のとおり異業種間交流の組合として設立され、主に組合間の情報交換により各社が保有する経営資源を有効活用して新分野の進出や開拓を支援する活動を行って来ました。現在組合員は56社で、その内、製造業が8社、非製造業が48社で構成されています。

最近は、円安等による原材料高騰や消費税増税の影響で経営悪化を懸念する声が多く聞かれます。

異業種の企業が組合員であるという特徴を踏まえ、地域や組織形態、事業が異なった組合員同士が多面的情報交換できるようにするために、組合員企業間の「交流」や「情報交換」が行えるように委員会を設置し、委員会が企画した研修会等を行っています。

各委員会の活動は、会員の会社経営に役立つ情報を提供していく「情報提供委員会」、組合員間の交流と連携を強くするための企画や家族への感謝を表し親睦を深めるための「福利厚生委員会」、教育と探求をテーマに活動を行う「教育研修委員会」に分かれ、それぞれの委員会が年に6回の定例会議、年に3回の研修会等を行っています。

今後の展開は？

これまで、異業種交流組合として各社の得意分野を活かし、研修会等を通じて組合員企業の事業運営の高度化のための新しいサービスや技術の創造を図ってきました。今後も厳しい経済状況が続いていくことが予想されますが、異業種間企業が集まり、それぞれが持っている情報の交換やさまざまな交流を行うことで経営向上に繋げて行きたいと考えています。今年度については、「交流を経営向上につなげよう」をキーワードとして、組合員の更なる拡大・募集を行っていきたいと考えています。特に、女性経営者の新規加入を促進し、女性部会にも力を入れていきたいと考えています。

情報提供委員会（研修会）